

東松島の未来創造

震災から6年がたちました

東日本大震災から6年がたちました。大東文化大学は、宮城県東松島市の復興を応援するために、これまで管弦楽団の「フレンドシップコンサート」、全学応援団による「ひがしまつしま福幸まつり 応援演舞」、「東松島復興応援講演会」などを行ない、2017年1月に東松島市と「地域連携協定」を締結しました。

東松島の人々のたゆまぬ努力によって復興は確実に進んでいます。とはいえ、復興はまだ道半ば。震災の風化も心配される昨今です。

P B L による復興応援へ

2016年度から、東松島市と大東文化大学の連携事業としてPBLによる復興応援「東松島の未来創造」がはじまりました。PBLとは【Project Based Learning】の略で「課題解決型の学び」のこと。

山積する東松島市の課題について、学生がグループで学習し、夏休み中には4泊5日のフィールドワークを行い、まとめた成果を東松島市長に提案します。

【昨年度の課題(参考)】

- I 『東松島食べる通信』の市内購読者数の拡大戦略
- II 東松島市の交流人口拡大方策
- III 東松島市の新しいコミュニティの形成と課題

募集要項

- ① 募集人数: 15名
学部学科、学年は問いません。申込みが定員を超えた場合は、面接等による選考を行います。
- ② 経 費 : 交通費と宿泊費、その他学習に関わる経費は原則として大学で負担しますが、現地研修費の一部として1万5千円程度が必要です。
- ③ 応募方法: 4月中に実施される説明会に必ず参加し、応募用紙を、4月26日(水曜日)午後5時までに、地域連携センター事務室に提出してください。

説明会の日程

第1回	4月 7日(金曜日)	12時40分~13時	東松山キャンパス 5号館 5-0312教室
第2回	4月14日(金曜日)	12時40分~13時	
第3回	4月21日(金曜日)	12時40分~13時	

お問い合わせは、地域連携センターまで。

東松山校舎 管理棟2階(キャリア支援課の隣)
板橋校舎 大東文化会館内

P
B
L
に
よ
る
復
興
応
援
へ

第
二
期
生
募
集



活動計画

5月19日(金)	ガイダンス	PBLとは何か、活動の進め方、グループ編成など
5月26日(金)	事前学習①	東松島市の概況
6月9日(金)	事前学習②	東松島市の暮らしから見えるもの
6月16日(金)	事前学習③	課題出し
6月30日(金)	事前学習④	グループワークⅠ
7月14日(金)	事前学習⑤	グループワークⅡ
8月3日(木)	事前学習⑥	グループワークⅢ
8月18日(金)	事前学習⑦	グループワークⅣ
8月下旬 ～9月上旬 (4泊5日)	現地学習	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク ・中間報告 ・最終報告会
9月22日(金)	事後学習	振り返り

※ ガイダンスと事前学習(①-⑦)及び事後学習は、

上記日程の17時～18時30分に、東松山キャンパスで行います。

東松島市について



東松島市は、日本三景・松島の一角を占め、人口約4万人の美しい自然に恵まれた風光明媚なまちです。2011年3月11日に発生した東日本大震災。震度6強を観測した東松島市を、最大10.5mの津波が襲いました。浸水区域は実に市街地の65%にまで達し、1110名もの尊い命が奪われました。家屋も73%が、全壊・半壊の甚大な被害を受けました。

東松島市の人々は、未曾有の大震災からの復旧・復興に向けて、それぞれのもち場で着実に前進しています。市街地の集団移設も実現しはじめ、2015年5月には、地域住民の悲願であった仙石線が復旧しました。内閣府の「環境未来都市」にも認定されています。

復興が進む一方で、急激な人口減少、被災者の心のケア、道路や下水道などのインフラ整備や小学校の建築、慢性的なマンパワー不足など、課題は山積しています。



東日本大震災直後の市内



日本三景「松島」(大高森から)



仙石線の復旧(野蒜駅)